

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

第2期喜茂別町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

北海道虻田郡喜茂別町

3 地域再生計画の区域

北海道虻田郡喜茂別町の全域

4 地域再生計画の目標

喜茂別町の人口は、昭和40年（1965年）頃までは7,000人近くを推移していたが、それ以降、急激な減少傾向にあり、令和7年（2025年）4月末時点では1,888人となっている。年齢3区分別の人口では、15歳未満人口が144人で全体の7.62%、15歳以上65歳未満人口が1,019人で全体の53.97%、65歳以上人口が725人で全体の38.49%となっており、少子高齢化による人口減少が深刻化している。

また、喜茂別町の将来人口は、現状のままでは、国立社会保障・人口問題研究所推計ベースで、令和22年（2040年）に1,609人、令和42年（2060年）には1,417人と予測されている。

本町の住民基本台帳から、令和元年（2019年）から令和6年（2024年）までの年間に渡る自然増減と社会増減についてみると、自然増減については、一貫して死亡数が出生数を上回っており、差し引き死亡超過数6年間の合計で194人、年平均約32.5人の自然減少となっている。社会増減については年度によるばらつきはあるものの、令和3年（2021年）と令和6年（2024年）を除き、転出数が転入数を上回っている状況となっており、社会増減についても減少傾向にあると言える。なお、令和6年（2024年）では転入数155人、転出数146人で9人の社会増となっている。

このように、喜茂別町は自然増減・社会増減双方の影響を強く受けていることから、今後の急激な人口減少を抑制するための施策整備が必要である。

なお、これらに取り組むに当たっては、次の事項を本計画期間における基本目標として掲げ、目標の達成を図る。

- ・基本目標 1 子どもが豊かに育つ喜茂別の実現
- ・基本目標 2 にぎわいが生まれる喜茂別の実現
- ・基本目標 3 安心安全を備えた喜茂別の実現
- ・基本目標 4 快適な自然環境で暮らせる喜茂別の実現
- ・基本目標 5 変革の歩みを止めない喜茂別の実現

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (R11年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	妊婦届出時の面談	100%	100%	基本目標 1
ア	妊娠 8 か月時の面談	100%	100%	基本目標 1
ア	新生児訪問	100%	100%	基本目標 1
ア	各キーマンス時の乳幼児 健診の受診	100%	100%	基本目標 1
ア	病児・病後児保育が実施 できる体制	1 体制	1 体制	基本目標 1
ア	主要 5 科目の教科書のデ ジタル化	80%	100%	基本目標 1
ア	ICTを活用した児童・生徒 に対する学習機会の提供 割合	100%	100%	基本目標 1
ア	「1 日防災学校」への参 加校	3 校/ 3 校	2 校/ 2 校	基本目標 1
ア	生涯学習ボランティアの 派遣事業数	10事業	12事業	基本目標 1

ア	図書の貸し出し冊数	1,121冊	1,200冊	基本目標1
ア	喜茂別町文化祭参加者数 (延べ)	300人	350人	基本目標1
ア	スポーツ事業参加者数(延べ)	5,000人	5,500人	基本目標1
イ	商工会会員数(定款会員含む)	113会員	120会員	基本目標2
イ	喜茂別町新規就業促進事業認定数	9件	15件	基本目標2
イ	観光入込客数	394万人	500万人	基本目標2
イ	農地集積率	82.0%	82.8%	基本目標2
イ	森林環境譲与税を活用した民有林の整備への補助額	1,476万円	1,800万円	基本目標2
イ	新築住宅補助金の交付件数	4件	5件	基本目標2
イ	空家バンクの登録件数	5件	7件	基本目標2
ウ	地区防災計画を作成している地域の数	1地域	3地域	基本目標3
ウ	町主催の防災訓練の回数	2回	5回	基本目標3
ウ	防犯灯のLED化率	83.1%	100%	基本目標3
ウ	各種健康診断受診者数	452人	500人	基本目標3
ウ	国民健康保険の特定健康診査受診率	38.7%	60%	基本目標3
ウ	福祉総合相談窓口の設置 (重層支援体制整備)	0体制	1体制	基本目標3
ウ	ボランティア団体活動数	2団体	3団体	基本目標3
ウ	障がい児支援体制の確保	1体制	1体制	基本目標3
ウ	障がい者支援体制の確保	1体制	1体制	基本目標3

ウ	在宅サービス提供体制の確保	1体制	1体制	基本目標3
ウ	介護予防に資する活動団体数	6団体	7団体	基本目標3
エ	公営住宅等入居率	80.1%	90%	基本目標4
エ	除排雪路線距離	46.5km	46.5km	基本目標4
エ	除排雪機械の老朽化率(20年以上経過)	30%	10%	基本目標4
エ	橋梁健全性診断において、健全と判断された以外の橋梁数	2	0	基本目標4
エ	交通事故発生件数(物損含む)	239件	200件	基本目標4
エ	水道施設の更新計画策定	未策定	策定	基本目標4
エ	水道の普及率	99.3%	99.5%	基本目標4
エ	下水道水洗化率	95.06%	95.10%	基本目標4
エ	アプリ等を活用した予約システムの導入	0システム	1システム	基本目標4
エ	リサイクル率(再資源として活用された量の比率)	48.10%	50.10%	基本目標4
オ	将来負担比率	61%	53%	基本目標5
オ	町税収納率	99.3%	99.4%	基本目標5
オ	国民健康保険税収納率	99.5%	99.6%	基本目標5
オ	ふるさと納税寄附金額	2.36億円	7.5億円	基本目標5
オ	町職員研修回数	11回/年	11回/年	基本目標5
オ	保育士研修回数	8回/年	10回/年	基本目標5
オ	ICTを活用した住民への情報発信体制	1体制	1体制	基本目標5

オ	まちづくり懇談会の実施	4会場／年	4会場／年	基本目標5
---	-------------	-------	-------	-------

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

○ まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

第2期喜茂別町まち・ひと・しごと創生事業

ア 子どもが豊かに育つ喜茂別の実現事業

イ にぎわいが生まれる喜茂別の実現事業

ウ 安心安全を備えた喜茂別の実現事業

エ 快適な自然環境で暮らせる喜茂別の実現事業

オ 変革の歩み止めない喜茂別の実現事業

② 事業の内容

ア 子どもが豊かに育つ喜茂別の実現事業

子どもたちが幸せでいることや、そこから広がる笑顔は、世代を超えたにぎわいを生み、多くの人を幸せにする力があります。また、人と交流する機会が減っている中、これまで以上に「人づくり」や「つながりづくり」が求められることから、個人の成長と地域社会の発展、学びと活動の好循環を生み出すことで、誰もが豊かに育つことのできる喜茂別をめざします。

【具体的な事業】

妊娠前から妊娠、出産、乳幼児の子育て期まで一貫した支援

子育て世帯が社会から孤立せず、子どもたちが地域で育つ環境の整備

ひとり親家庭や医療的ケア児などへのサポートを充実し、子育て家庭に寄り添った支援

自ら考えを発信し互いの意見を交流できる取組を進める

地域に貢献する人材の育成と、多世代が交流できる機会の創出
芸術・文化及びスポーツを身近に楽しめる環境を整備 等

イ にぎわいが生まれる喜茂別の実現事業

身近な地域で働き、豊かな暮らしが実現できるよう、商業・農業の持続性の向上と活性化を図るため、「働きたい・活動したい・住みたい」と思える場づくりを進め、起業支援や、民間企業等との連携に取り組みます。また、中心市街地の回遊性を高め、地域資源を活かしたイメージの向上や観光交流なども通じて、町民にとっては「住みたい、帰ってきたい」、町外の方には「訪れたい」と思えるような、にぎわいが生まれる喜茂別をめざします。

【具体的な事業】

事業者の経営基盤の確立及び経営の安定と技術の改善・発展を支援

魅力的な中心市街地の環境整備

羊蹄山などの景観を観光資源として効果的に発信

ふるさと意識の醸成と交流人口の拡大

農業の担い手不足解消に向けた取組

鹿などの野生鳥獣による農業被害を軽減する取組

野生鳥獣駆除後の有効活用に向けた取組

森林の保全の確保により、森林資源の維持造成

移住希望者に対する住環境情報の発信を強化

空家バンク制度を活用した、循環利用を促進 等

ウ 安心安全を備えた喜茂別の実現事業

子どもから高齢者まで、障がいがある人もない人も、居場所があること、自分の力を発揮できる場所があることは幸せを実感する上で重要なことです。そのため、町民が将来にわたって住み慣れた地域で自分らしく、安心して暮らせるように取り組みます。併せて、多発する大規模災害、巧妙化する犯罪、社会情勢の変化などに的確に対応し、安全に暮らせる喜茂別をめざします。

【具体的な事業】

関係機関等と連携して防災基盤を整備

計画的な備蓄や被災者支援の体制づくり

地域と町が協働で行う訓練や家庭での備蓄の啓発

犯罪被害抑止のため、防犯カメラの設置など防犯対策の検討

LED街灯等への交換・新設

多様化する消費者トラブルに対して、相談体制を充実

各種健（検）診や相談支援・健康教育等に取り組む

健康寿命の延伸に繋げる健康づくりと生活習慣病等の発症・重症化予防を推進

医療機関と連携しながら持続可能な町の医療体制の構築

医療機関相互間の機能分担及び連携を推進し、広域連携によって医療体制の確保

総合的な相談支援体制の整備

地域住民による主体的な福祉活動の充実

障がい者等が住み慣れた地域で必要な支援を受けながら、自らの意思に基づいた社会活動への参画を支援

認知症施策や高齢者の生きがいつくりと社会参加の促進による介護予防

安定的な介護サービス提供体制の確保

犯罪をした者等の円滑な社会復帰を促進するため、再犯防止に関する施策を推進

外国人と共に生活できる環境整備 等

エ 快適な自然環境で暮らせる喜茂別の実現事業

本町は豊かな自然環境を有し、緑豊かな環境と利便性を併せ持っていることが大きな特徴です。このようなまちの特徴を大切にするため、自然や文化、多様性の理解を深め、それらを守り、育む、ふるさとに愛着が持てる取組を進めます。併せて、人口減少や少子・高齢化の進行など、社会環境は大きく変化していくことから、既存の施設を有効活用しながら、民間活力などによりまちに新たな魅力や価値を加え、持続可能で生活の質の高い、快適な環境で暮らせる喜茂別をめざします。

【具体的な事業】

公営住宅等の長寿命化と適切な維持管理による良好な住宅環境づくり
新たに利便性の高い道路等の維持保全
橋梁の老朽化対策として、予防保全型の補修
関係機関と連携し、啓発に取り組み、町民の交通安全意識の向上
冬期間の必要な除排雪体制の確保
上下水道事業の持続可能な経営を行うため、水道施設の更新化計画を策定
ごみ減量化の意識を醸成し、発生抑制や再利用、リサイクルを推進することで循環型社会の構築
地域公共交通のサービス水準を維持するとともに、持続可能な地域公共交通のあり方を検討
急激な地球温暖化を防止するため、再生可能エネルギーの導入など脱炭素化に向けた取組を検討 等

オ 変革の歩み止めない喜茂別の実現事業

複雑・多様化する行政ニーズに的確に対応するために、限られた人的資源を効率よく有効に活用した施策の実施、事務事業の見直し、ICT（情報通信技術）化を進めます。また、町民が必要としている情報や、町が知ってほしい情報を効果的に伝える取組等を通じて、町民や団体、事業者などができることを持ち寄り、力を発揮できる仕組みをつくります。併せて、変化に柔軟に対応できる組織体制の構築や、職員の能力開発といった人材育成に努めるなど、変革の歩みを止めない喜茂別をめざします。

【具体的な事業】

行政の経営資源を有効に活用

社会情勢の急速な変化に対応できる職員を育成

デジタル技術を取り入れ、「情報化・省力化された役場」をめざす

行政運営の質の向上と効率化を進める

ICTを活用し、町民サービスの向上につなげる

広報誌やホームページ、SNSなどを通じて行政情報などを提供するほか、町民とともに喜茂別の良さを町内外に発信 等

※なお、詳細は第3期喜茂別町総合戦略のとおり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

950,000千円（2025年度～2029年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度10月頃に外部有識者による効果検証を行い、翌年度以降の取組方針を決定する。検証後速やかに本町公式WEBサイト上で公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2030年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2030年3月31日まで